

「第4回まちづくり基本条例 市民学習会」

アンケート結果

問1 参加者数

男性	45
女性	8
合計	53

アンケート回収者数

男性	23
女性	5
無回答	1
合計	29

回収率 55%

問2 アンケート回収者の年代

20歳代	男性	1人
	女性	0人
	合計	1人
30歳代	男性	2人
	女性	0人
	合計	2人

40歳代	男性	1人
	女性	0人
	合計	1人
50歳代	男性	3人
	女性	2人
	合計	5人

60歳代	男性	9人
	女性	3人
	合計	12人
70歳以上	男性	7人
	女性	0人
	無回答	1人
合計	8人	

問3 この学習会の開催を何でお知りになりましたか？(複数回答あり)

広報つばめ	8人	友人・知人からの誘い	1人
ホームページ	1人	グループ・団体からの呼びかけ	5人
チラシ	1人	その他	2人
市からの手紙	18人		

問4 本日の学習会のテーマについて、ご感想、ご意見などがありましたらご記入ください

自治会の事業内容を聞くことができ参考になるところがあった。今後もこういう取り組みをしてもらいたい。
初めて勉強(参加)させていただきました。
実践発表に基づいた学習会で、最後までとても興味を持って受講することができました。
自治会の役割は町・組の自治のメンテナンスで、まちづくり協議会の役割は地域全体の課題への企画立案でしょうか。
自治会の活動には各自治会との差は無いと思うが、内容の中で自治会費で実施されているのが少し引っかかるところがある。
自治会くらいの大きさならばまとまりが良いが、まちづくり協議会くらいの大きさになるとまとみにくくなります。また、まちづくり協議会で環境について催しをしても一般の人の関心が低く、人が集まらない。
行政機関のみでは住みよい燕市を作ることができないことが、活動事例発表団体で理解できた上、有意義なテーマであったと思う。
自治会、まちづくり協議会、団体の活動事例は、解り易く説明され大変良かった。また、身近なテーマであり、大変良かったと思いました。宮町自治会が数多くの事業を毎年行っていることには感心致しました。
分水さくらを守る会について新燕市全体として活動を行ったら良いのでは。
自治会および各団体の発表がありがたい。参考になりました。
本日のテーマについて大変効果的であったと思います。
「協働のまちづくり」という点で、今回のテーマは直接的なものではないように思えました。そのため参加者が少なかったのではないかと思いました。
4団体の事例紹介、身近な問題として参考になった。
発表者がもっと広い範囲の人々の意見が聞きたいと思った。ボランティア、社協、学校など、まちの人々をささえている人々に聞きたい。
「まちづくり」というテーマから自治会、まちづくり協議会の方々が主として発表されていましたが、NPOの方のように、まちづくりを支えている団体、グループ、ボランティアの話をもっと聞けると良かったと思います。
自治会長の話で、よく地区のためにいろいろ考えているなと思いました。3地区の市民が一丸となって全体で協力していかなければならないと思います。
実際に行動されている人に、質問に具体的に答えていただき大変に役立ちました。
他の自治会の運営方法がある程度理解できました。
他の自治会及びまちづくり協議会の活動状況を知り大変参考になりました。このことは今後の目的、活動に大変有意義です。共通点や最大公約数が浮き彫りになりました。
自治会とまちづくり協議会とは活動に違いがあり、話がわかりづらい。
実践活動の報告は興味があった。行政は自治会を自治の活動体としているのかどうか疑問の部分がある。
諸団体のお話良かったので毎回もっと各団体の話を聞きたいと思います。

問5 本日の学習会の進め方について、ご感想、ご意見などがありましたらご記入ください

会場が変わったことが大変良かった。開催ごとに会場を変えてほしい。
時間がやや足りないのでは。
実践に基づいた学習会だったので、質問、回答共にとても身近なもので、わかりやすく参考にさせてもらいたい内容がたくさんありました。
学習勉強と検証確認という点で今回のやり方はOK。
具体的な事例に基づいての学習内容であったせいか理解を深めることができた。また、今までと違った進め方であったので新鮮に感じた。
発表者と自由な射た答弁がされて良かった。また、事前の質問票に基づいての学習会の進め方でスムーズに進行されたと思いました。
各団体の発表が参考になった。
事例発表や意見交換会は生の活動や悩み事が聞けて良かったです。会場の人から質問票をとっての回答は良かったです。次回の学習会の企画を楽しみにしています。がんばってください。
今のままで良い。
まちづくり基本条例の制定にかかる今後の進め方について、開催別にあらかじめ議題やテーマを提示してもらえないか。
事例発表を通じて「こういう協働の取り組みをしている（考えられる）」という点で述べてもらえば今回のテーマと噛み合うのではないかと思います。
参加することで、やる気のある意見発表が聞けてもっと自分のできることもやっていきたいと思いました。「みんな頑張っているな」と感心します。
2時間の中では盛りだくさんの話を組み込むことも聞くことも大変ですが、たまには内容によって3時間で設定してみてもいいでしょうか？
3地区の話の聞けて良かったと思います。良いまちづくりに協力していきたいと思います。
最中に行われた質問票の記入は、大変良かったと思います。これからの学習会でも行ってもらいたいです。
まち協や基本条例その他の事柄を考慮いたしますと、主旨・目的は財政負担の削減が主目的であることは明らかです。金子副市長さんの口から受益者負担という言葉が出たことは進歩であると思いました。
自治会、まちづくり協議会を燕市としては今後も続けていかれるのか。
団体報告の次に先生のコメントがあった方が良かったと思います。

問6 その他、学習会に対するご感想、ご意見などがありましたらご記入ください。

市全体で自治会長や各委員の任期交代を3月末日に統一できないか。
まちづくりに働き盛りの人々を参加するようにするのが公的課題？
過去のアンケート結果を見ると若年層の参加が少ないことを問題視するコメントが見られた。現在の学習会の段階では難しいかもしれないが審議会など具体的に内容を検討する段階となったときに小中学校の「総合的な学習の時間」を活用するやり方を考えても良いのではないだろうか。各学校での狙いやカリキュラムが既に存在しているとは思いますが、若年層の参加を狙いとするのであれば有効であると考えている。
マイクの調整がとても良く聞きやすかったです。
ホームページの会議の議事録が参考になりました。（かわら版も）
市議会議員さんからも本学習会に出席してもらっても良いのではないかと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・100人委員会のメンバーの参加が少ないのが悲しい。 ・行政の職員の参加が少ないのも悲しい。少々強制的にする必要もあるのではないかと（そろそろ）？現在のよう参加状況では「市民だけが協働意識を持つべき」と思わせてしまうのではないかと？まちづくり基本条例は、市民と行政双方のためのものであるのでは？ ・担当のみなさん大変おつかれ様です。がんばってください！！
次世代のために若い世代の代表者からの意見や考えを述べてもらいたい。
まちづくり基本条例とは「みんなで作ろう！！」が基本なのに、あまりにも参加している人がシルバーが多くて、若い男性・女性が参加されて、これからの燕市を良くするような意見が出るのが望ましく、できる限り参加しやすい工夫が必要ではないのかな？
他市町村の事例をスライドなどで紹介してもらおうのも楽しいかと。また「まちづくり」は市だけで行えるものではないので、商工会、社協、福祉会、女性団体、子育てグループ等の参加も必要と思うが。
参加者が少ないので、まだ市民の皆さんに、この様なまちづくりのお話があるのが連絡が届いていないのではないかと思いますので、もっと声かけをしなければならぬと思います。高齢者や大人は参加するが、若い人がいないので残念です。
何といても市民の皆様はボランティア（自発的）精神の形成が必要です。依存体質、依頼体質からの脱却、自己責任。国民・市民の皆さんに痛みを伴うことは、政府及び自治体もなかなかつらいことと思いますが、主旨・目的をはっきりと説明すべきです。これがいつも曖昧。
自治会、まちづくり協議会の関連をどうするのか（役員等はほとんど同じ）。また、農地、緑地、水等々の（5年予定と言われている）関連がわかりづらい。
この学習会を通して条例案も検討できるのか。
毎回思いますが、学習会の始まる時間が朝9時からとか昼からは13時からになると良いと思います。